
よかったのかい？ホイホイ小説なんて見ちまって？

黒兎@Leon

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

よかつたのかい？ホイホイ小説なんて見ちまって？

【Nコード】

N8272U

【作者名】

黒兎@Leon

【あらすじ】

そんな小説で大丈夫か？大丈夫だ、問題ない。

(前書き)

注意 ホモやアツー！が苦手な人はトイレに逃げてください。

阿部「クッ……」

大佐「目が覚めたか」

阿部「うん……？これは何の真似だい？縄を解いてくれ。言っておくがアブノーマルなプレイは勘弁だ」

大佐「いや、君を誘拐したのはそんな理由ではない」

阿部「でも短い人生の中、アブノーマルを経験するのも悪くない」

大佐「まずは誘拐した理由を言おう」

阿部「だが、やっぱりアブノーマルは勘弁だな……」

大佐「ソリッド・スネークを知ってるか？」

阿部「シャドーモセス事件の？」

大佐「ほお、知っているのか」

阿部「世界の良い男の情報は全て頭に入っている」

大佐「うむ……そのスネークだが……」

阿部「ちなみにスネークは良い男ランキング2位だ」

大佐「……誘拐された」

阿部「何だとお？……よくも……」

大佐「？」

阿部「よくも俺のスネークを……」

大佐「誘拐したグループの名はデッドセル」

阿部「俺の任務はスネークを救出することか」

大佐「そうだ。君は去年、チベットで行なわれた“良い男選手権”でスネークと親密な仲になった」

阿部「彼はギャラリーだったけどね。本当に良い男だった……ウホッ」

大佐「アメリカじゃ有名だ……良い男を探すプロフェッショナルでありながら、なかなかの体術を持つ日本人……」

阿部「フフッ、光栄だよ」

大佐「誠に勝手ながら誘拐させてもらった。この任務も強制だ」

阿部「いいだろう……良い男の為なら一皮剥いてやるさ……」

オタクン「じゃあ、体内にナノマシンを入れるから」

阿部「ウホッ……メガネ男子もなかなか……」

オタクン「おっと、挨拶が遅れたね。僕はオタクン。スネークのパートナーさ」

阿部「ナノマシンって何だい？それは……気持ち良いのかい……？」

オタコン「これは簡単に言つと、『声を出さずに簡単に無線出来る
よくなるもの』かな」

阿部「喘ぎ声も周囲に聞こえないのか……ウホッ」

オタコン「ナノマシンを入れるよ」

ズッ

阿部「アッ……少し痛いけど……この痛み……悪くない……」

オタコン「はい。終わったよ」

阿部「もっと……くれないのかい……？」

オタコン「もう十分だ。大佐、彼に話の続きを」

大佐「うむ。続けよう」

阿部「これが……ナノマシン……（うつとり）」

大佐「今回潜入するのはデッドセルの本拠地の内部にある、アーセナルギアという場所だ」

阿部「そこに良い男……スネークはいるんだね？」

大佐「ああ。だが容易な任務ではない」

阿部「男は度胸！何でも試してみるのさ！」

オタコン「アッ！頼むがある」

阿部「なんだい？良い男の頼みだけは断れない」

オタコン「途中で……エマを助けてくれ」

阿部「エマ……？まさか弟か兄かい！！？」

オタコン「妹だ……」

阿部「断る」

大佐「さて、行ってもらう」

阿部「いったいどんな良い男たちが待っているのだろうか……」

オタコン「頑張ってくれよ」

阿部「ああ」

シヨウタイムだ」

こうして阿部は、デッドセル本拠地に向かった。

大佐「行ったな……」

オタコン「ぶつちやけキモかったですね……初めてですよ。ナノマ
シン注入で喜んだ人」

大佐「アメリカじゃそれが常識だった。それよりエマはいいのか？」

オタコン「……手は打ってあります。きつと……」

大佐「？」

一方その頃、阿部はA脚底部海底ドッグ（本編で雷電が最初に着いた場所）に到着した。

阿部「ふうー！全裸で汚れた海を泳ぐのも興奮ものだな。何事にも挑戦してみるものだ」

敵「誰かいるのか？」

阿部「ウホッ……獲物が来た」

敵「しつ、侵入者d……モガッ!? (馬鹿な……!? こんな変態的な速さで俺の口を塞ぐなんて……)」

阿部「シート。二人だけの時間を楽しもうじゃないか」

敵「アッー!!!」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8272u/>

よかったのかい？ホイホイ小説なんて見ちまって？

2011年10月9日10時18分発行